



2025 年 11 月 18 日
一般社団法人日本パレット協会事務局

アジア各国におけるパレット普及・標準化状況 ～APSF 総会にて加盟 10 カ国から報告

9 月 23 日、韓国・ソウル市にて第 20 回アジアパレットシステム連盟(APSF)総会が開かれ、各国のパレット生産状況や標準化の現状が報告されました。

当協会では各国の報告内容を一覧にして、前年の報告との比較を別紙の通りまとめました(各国の報告をそのまま掲載、集計方法は各国に一任)。

これによると平パレットの各国の 2024 年生産数量は 553 百万枚で前年比で 39 百万枚、7.5%増加した。前年減少の中国が 9.0%増となったのを始め、日本を除く 8 カ国が生産枚数増加となりました(ミャンマーは生産なし)。

この内訳を APSF で標準としている 11 型、12 型で見ると共に生産数量は前年より増加しており、生産全体に占める比率では 11 型は 18.4%、12 型は 34.6%で、両者を合計した比率は 53.1%で前年と同率でした(インドは未提出)。

各国生産数量中の 11 型比率は韓国が最も高く 43.8%で日本ほか東南アジア各国が 3 割前後で続きます。12 型の比率についてはタイの 58.0%が圧倒的でベトナム、中国等が続いています。

また、国別の人口規模と生産枚数を比較すると、韓国が一人当たりパレット生産量で 0.72 枚でトップ、続いて日本が同 0.42 枚、マレーシアが 0.38 枚で続きました。東南アジア各国は生産枚数こそ小規模な国が多いですが、標準規格の比率では日本を大きく上回る国が多くあります。

一方、レンタル平パレットの保有数量では(国数は限定的ですが)中国、日本、タイの順で多く、人口比では日本が最多です。標準化率は皆、7 割以上です。

以上

<お問い合わせ>

03-6458-5580 / info@jpa-pallet.or.jp

担当：岸波